

1. 需給見通し

農林水産省は、「砂糖及びでん粉の価格調整に関する法律」（昭和40年法律第109号）により、四半期ごとに砂糖および異性化糖の需給見通しを公表している。12月に「平成30砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第2回）」を公表した（詳細は2019年2月号参照）。

平成30砂糖年度（10月～翌9月）の見通し

【砂糖】

総消費量：192万6000トン（前回見通しから1000トン増）

総供給量：188万2000トン（同2万7000トン減）

【加糖調製品】

消費量および供給量：52万8000トン（前年度同）

【異性化糖】

消費量および供給量：82万6000トン（同9000トン増）

表1 平成30砂糖年度における砂糖の需給見通し

（単位：千トン）

		平成29砂糖年度 (実績)	平成30砂糖年度（見通し）				合 計	
			10月－12月 (実績見込み)	1月－3月 (見通し)	4月－6月 (見通し)	7月－9月 (見通し)		
消費量	分みつ糖	1,861	503.6	442.4	475.5	468.6	1,890	
	含みつ糖	36	6.1	14.1	9.0	6.2	36	
	合 計	1,897	509.7	456.5	484.5	474.8	1,926	
供給量	国内産糖	分みつ糖	784	338.7	345.2	55.3	-	739
		含みつ糖	10	0.7	7.6	1.3	-	10
		小計	794	339.4	352.8	56.6	-	749
	輸入糖	分みつ糖	1,123	326.7	176.7	301.8	318.0	1,123
		含みつ糖	10	1.6	4.6	3.1	0.8	10
		小計	1,133	328.3	181.3	304.8	318.8	1,133
	合計	分みつ糖	1,907	665.4	521.9	357.1	318.0	1,862
		含みつ糖	20	2.3	12.3	4.3	0.8	20
		小計	1,927	667.7	534.2	361.4	318.8	1,882
	期末在庫		311	457.1	534.8	411.7	255.6	256

資料：農林水産省「平成30砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第2回）」

注1：分みつ糖は精糖ベースの数量、含みつ糖は製品ベースの数量である。

注2：輸入糖の分みつ糖供給量は、機構売買数量である。

表2 平成30砂糖年度における加糖調製品の需給見通し

（単位：千トン）

	平成29砂糖年度 (実績)	平成30砂糖年度（見通し）				合 計
		10月－12月 (実績見込み)	1月－3月 (見通し)	4月－6月 (見通し)	7月－9月 (見通し)	
消費量	528	138.1	118.1	137.1	134.5	528
供給量	528	138.1	118.1	137.1	134.5	528

資料：農林水産省「平成30砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第2回）」

注1：改正糖価調整法（平成30年施行）に基づき調整金の対象とされた加糖調製品を対象としている。

注2：消費量は対象となる加糖調製品の輸入量（財務省貿易統計より算出）を踏まえて見通しており、供給量は消費量に見合った量が供給されるものとして見通している。

注3：平成30砂糖年度の消費量は、平成29砂糖年度の輸入実績を踏まえて見通している。

表3 平成30砂糖年度における異性化糖の需給見通し

(単位：千トン)

	平成29砂糖年度 (実績)	平成30砂糖年度 (見通し)				合計
		10月-12月 (実績見込み)	1月-3月 (見通し)	4月-6月 (見通し)	7月-9月 (見通し)	
消費量	832	179.0	179.4	244.8	222.8	826
供給量	832	179.0	179.4	244.8	222.8	826

資料：農林水産省「平成30砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第2回）」
注：標準異性化糖（果糖55%ものの固形ベース）に換算した数量である。

2. 異性化糖の移出動向

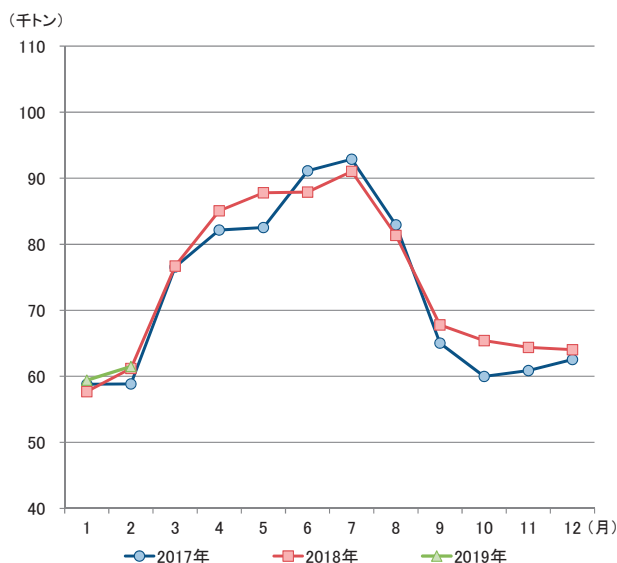
2月の移出数量は前年同月からわずかに増加

2019年2月の異性化糖の移出数量は、6万1488トン（前年同月比0.5%増、前月比3.5%増）であった（図1）。

2月の規格別の移出量は、次の通りであった（図2）。

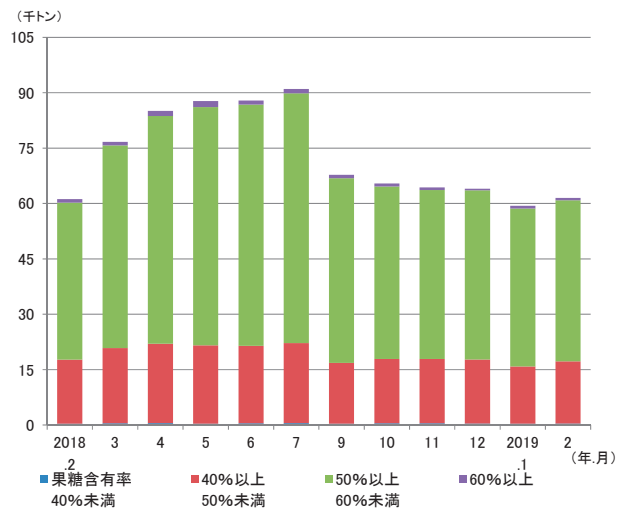
- 果糖含有率40%未満 419トン
(前年同月比13.3%増、前月比16.4%増)
- 同40%以上50%未満 1万6833トン
(同3.0%減、同8.5%増)
- 同50%以上60%未満 4万3623トン
(同2.6%増、同2.0%増)
- 同60%以上 613トン
(同35.9%減、同21.3%減)

図1 異性化糖の移出量の推移



資料：農畜産業振興機構調べ

図2 異性化糖の種類別移出量の推移



資料：農畜産業振興機構調べ

3. 輸入動向

【分みつ糖の輸入動向】

1月の輸入量は前年同月から大幅に増加

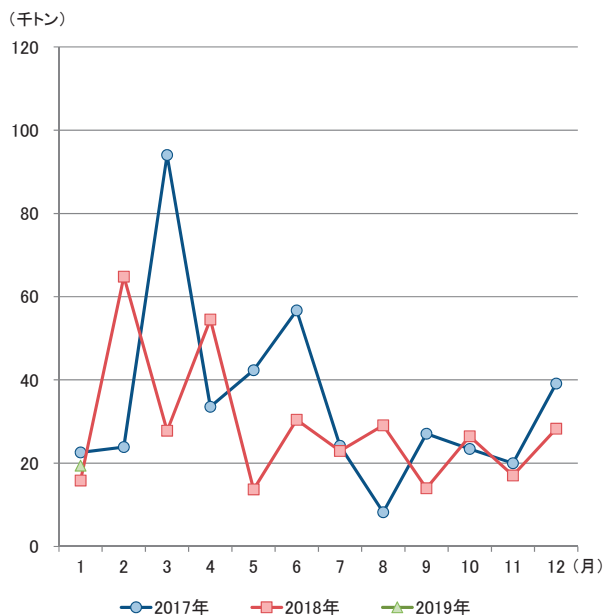
財務省「貿易統計」によると、2019年1月の分みつ糖（HSコード 1701.14-110）の輸入量は、1万9427トン（前年同月比22.7%増、前月比31.4%減）であった（図3）。

輸入先国はタイのみで、輸入量は次の通りであった（図4）。

- タイ 1万9427トン
(前年同月比2.3倍、前月比31.4%減)

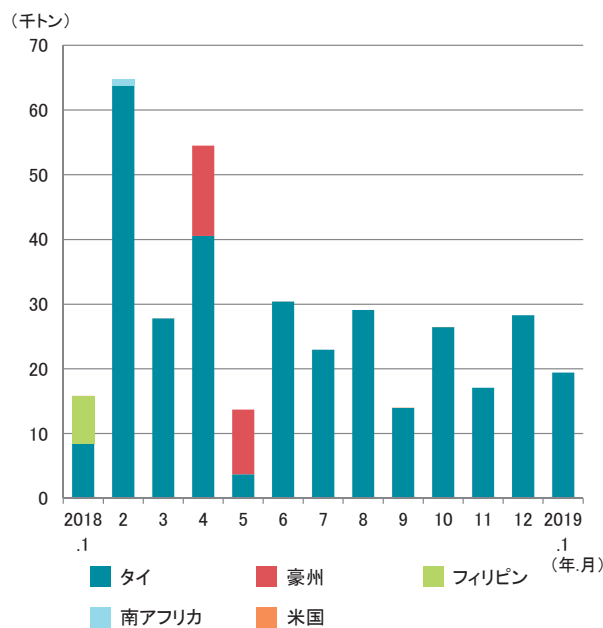
また、同月における豪州からの高糖度原料糖（糖度98.5度以上99.3度未満、HSコード1701.14-200）の輸入はなかった。

図3 分みつ糖の輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.14-110

図4 分みつ糖の国別輸入量の推移

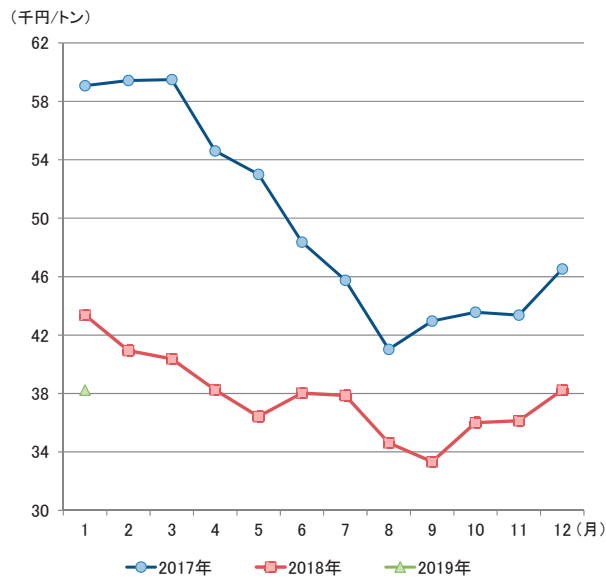


資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.14-110

2019年1月の1トン当たりの輸入価格は、3万8231円（前年同月比11.9%安、前月同水準）であった（図5）。

タイ 3万8231円
（前年同月比11.0%安、前月同水準）

図5 分みつ糖の輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.14-110

【含みつ糖の輸入動向】

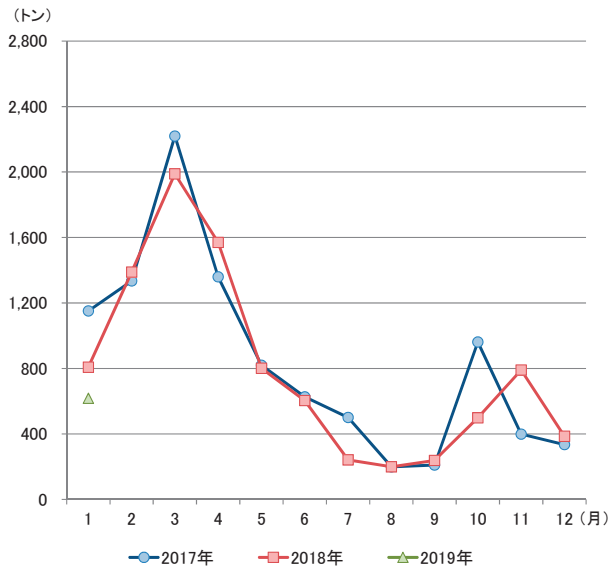
1月の輸入量は前年同月から大幅に減少

財務省「貿易統計」によると、2019年1月の含みつ糖（HSコード 1701.13-000、1701.14-190）の輸入量は、618トン（前年同月23.4%減、前月比60.1%増）であった（図6）。

輸入先国はタイ、中国、ボリビア、フィリピンの4カ国で、国別の輸入量は次の通りであった（図7）。

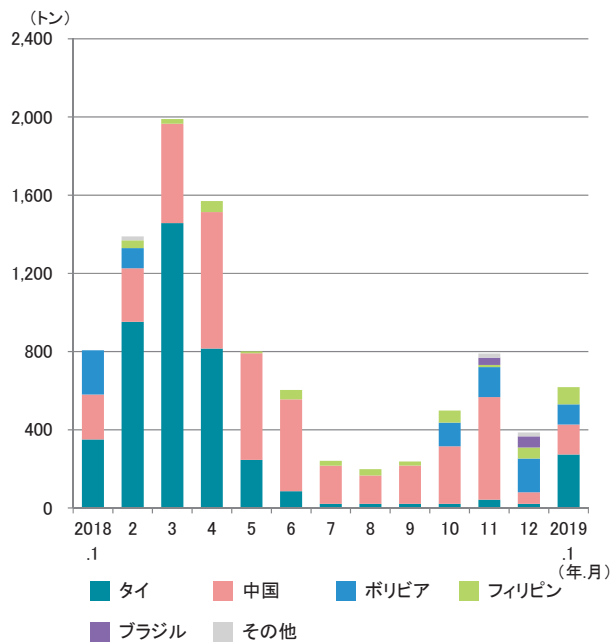
タイ	273トン
（前年同月比22.2%減、前月比13.0倍）	
中国	154トン
（同33.0%減、同2.6倍）	
ボリビア	103トン
（同54.4%減、同40.5%減）	
フィリピン	88トン
（前年同月輸入実績なし、同57.1%増）	

図6 含みつ糖の輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.13-000、1701.14-190

図7 含みつ糖の国別輸入量の推移



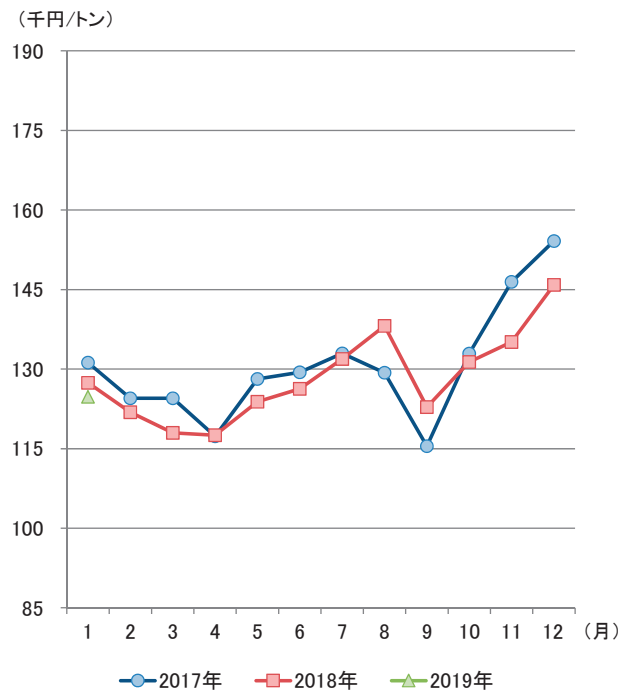
資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.13-000、1701.14-190

2019年1月の1トン当たりの輸入価格は、12万4770円（前年同月比2.1%安、前月比14.5%安）であった（図8）。

国別の1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

タイ	11万5575円
	（前年同月比3.1%安、前月比18.6%高）
中国	12万7838円
	（同3.3%安、同0.6%高）
ポリビア	12万9136円
	（同4.6%安、同6.5%安）
フィリピン	14万2818円
	（前年同月輸入実績なし、同5.4%高）

図8 含みつ糖の輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.13-000、1701.14-190

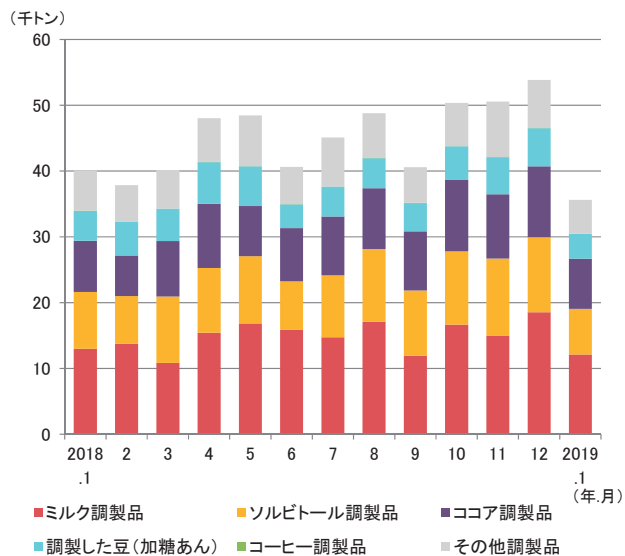
【加糖調製品の輸入動向】

1月の加糖調製品の輸入量は前年同月からかなり減少

財務省「貿易統計」によると、2019年1月の加糖調製品の輸入量は、3万5637トン（前年同月比11.1%減、前月比33.8%減）であった（図9）。

品目別の輸入量は、次の通りであった（表4）。

図9 加糖調製品の品目別輸入数量の推移



資料：財務省「貿易統計」

注：各品目のHSコードは次の通り。

【2018年12月まで】

ココア調製品：1806.10-100、1806.20-111、1806.20-190、1806.32-211、1806.90-211

コーヒー調製品：2101.11-100、2101.12-110、2101.12-246

調製した豆（加糖あん）：2005.40-190、2005.51-190

ミルク調製品：1901.90-219、2106.90-283、2106.90-284

ソルビトール調製品：2106.90-510

その他調製品：2106.90-590、2101.20-246、2106.90-251、2106.90-281、2106.90-282、2106.10-219

【2019年1月から】

ココア調製品：1806.10-110、1806.10-190、1806.20-112、1806.20-113、1806.20-121、1806.20-129、1806.32-212、1806.32-213、1806.90-212、1806.90-213

コーヒー調製品：2101.11-110、2101.11-190、2101.12-111、2101.12-112、2101.12-246

調製した豆（加糖あん）：2005.40-191、2005.40-199、2005.51-191、2005.51-199

ミルク調製品：1901.90-219、2106.90-283、2106.90-284

ソルビトール調製品：2106.90-510

その他調製品：2106.90-590、2101.20-246、2106.90-252、2106.90-253、2106.90-281、2106.90-282、2106.10-219

表4 加糖調製品の品目別輸入数量（1月）

区分	輸入量 (トン)	前年同月比 (%)	前月比 (%)
ミルク調製品	12,112	▲ 6.8	▲ 34.7
ソルビトール調製品	6,946	▲ 19.5	▲ 39.1
ココア調製品	7,611	▲ 2.0	▲ 29.3
調製した豆（加糖あん）	3,772	▲ 17.2	▲ 34.8
コーヒー調製品	48	1.1	38.8
その他調製品	5,149	▲ 15.6	▲ 29.4

資料：財務省「貿易統計」

4. 価格動向

【市場価格】

砂糖、異性化糖ともに前月と同水準で推移

2月の糖種別・地域別の砂糖価格（日経相場）は次の通りであった。

上白糖（大袋）

東京 1キログラム当たり187～188円

大阪 同187～188円

名古屋 同191円

関門 同191円

上白糖（小袋）

東京 1キログラム当たり199～202円

大阪 同202円

本グラニュー糖（大袋）

東京 1キログラム当たり192～193円

大阪 同192～193円

名古屋 同196円

ビート・グラニュー糖（大袋）

東京 1キログラム当たり187～188円

大阪 同187～188円

名古屋 同189円

2月の異性化糖の価格（日経相場、大口需要家向け価格、東京、タンクローリーもの、JAS規格品、水分25%）は、次の通りであった。

果糖分42%もの

1キログラム当たり131～132円

果糖分55%もの

同137～138円

【小売価格】

2月の上白糖小袋の地域間の価格差は最大で24.8円

KSP-POSデータ（全国535店舗）によると、スーパーにおける2月の上白糖小袋（1キログラム）の平均小売価格は、192.1円（前年同月差0.4円高、前月差0.6円高）であった。

同月の地域別^{（注）}の平均小売価格は次の通りであった（表5）。

表5 上白糖の地域別平均小売価格（2月）

（単位：円/kg）

地域	平均価格	対前年同月価格差	対前月価格差
北海道	200.7	4.0	0.9
東北	202.5	1.5	0.9
関東など	184.0	3.0	0.4
首都圏	189.4	3.8	4.1
中部	179.2	0.2	▲ 3.8
関西	191.9	▲ 1.4	▲ 1.0
中国・四国	204.0	▲ 3.4	3.1
九州・沖縄	195.6	▲ 2.8	1.7
全平均	192.1	0.4	0.6

資料：農畜産業振興機構調べ（原典：KSP-POSデータ〈全国535店舗〉）

最も高かったのは中国・四国で、最も安かった中部との価格差は24.8円であった。

（注）地域の内訳は次の通りである。以下、グラニュー糖および三温糖も同じである。

関東など：茨城県、栃木県、群馬県、長野県、山梨県、静岡県

首都圏：東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県

中部：新潟県、富山県、石川県、福井県、岐阜県、三重県、愛知県

関西：大阪府、兵庫県、京都府、滋賀県、和歌山県、奈良県

2月のグラニュー糖小袋の地域間の価格差は最大で73.7円

KSP-POSデータ（全国535店舗）によると、スーパーにおける2月のグラニュー糖小袋（1キログラム）の平均小売価格は、242.6円（前年同月差1.2円安、前月差1.2円高）であった。

同月の地域別の平均小売価格は次の通りであった（表6）。

表6 グラニュー糖の地域別平均小売価格（2月）

（単位：円/kg）

地域	平均価格	対前年同月価格差	対前月価格差
北海道	203.6	1.8	0.6
東北	277.3	0.2	1.2
関東など	248.5	0.8	0.0
首都圏	251.1	1.8	3.5
中部	250.6	1.6	▲ 0.3
関西	228.6	▲ 1.6	▲ 0.9
中国・四国	251.5	▲ 10.5	5.5
九州・沖縄	216.6	▲ 6.3	0.0
全平均	242.6	▲ 1.2	1.2

資料：農畜産業振興機構調べ（原典：KSP-POSデータ〈全国535店舗〉）

最も高かったのは東北で、最も安かった北海道との価格差は73.7円であった。

2月の三温糖小袋の地域間の価格差は最大で54.0円

KSP-POSデータ（全国535店舗）によると、スーパーにおける2月の三温糖小袋（1キログラム）の平均小売価格は、236.7円（前年同月差0.7円高、前月差0.5円高）であった。

同月の地域別の平均小売価格は次の通りであった（表7）。

表7 三温糖の地域別平均小売価格（2月）

（単位：円/kg）

地域	平均価格	対前年同月価格差	対前月価格差
北海道	244.3	▲ 5.4	1.2
東北	262.0	6.5	2.7
関東など	244.3	2.2	▲ 0.9
首都圏	232.1	1.3	▲ 0.7
中部	229.7	0.8	▲ 0.4
関西	229.8	4.5	▲ 0.6
中国・四国	249.8	▲ 4.8	5.2
九州・沖縄	208.0	▲ 3.3	0.0
全平均	236.7	0.7	0.5

資料：農畜産業振興機構調べ（原典：KSP-POSデータ〈全国535店舗〉）

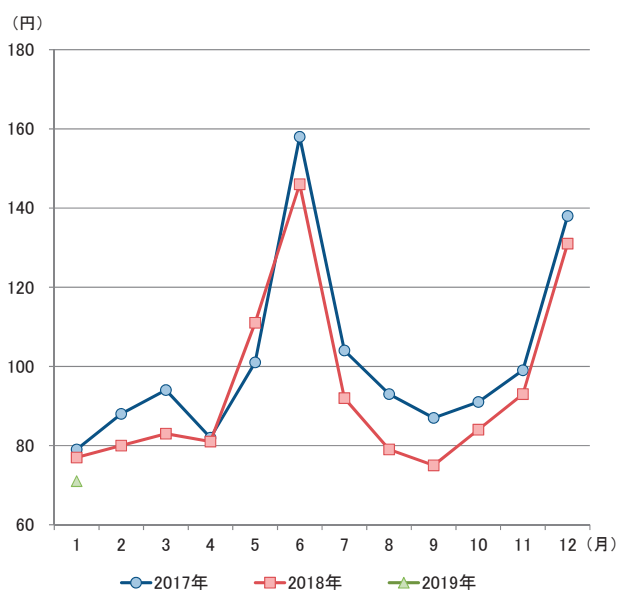
最も高かったのは東北で、最も安かった九州・沖縄との価格差は54.0円であった。

【購入金額および購入量】

1月の砂糖の支出金額は前年同月からかなり下落

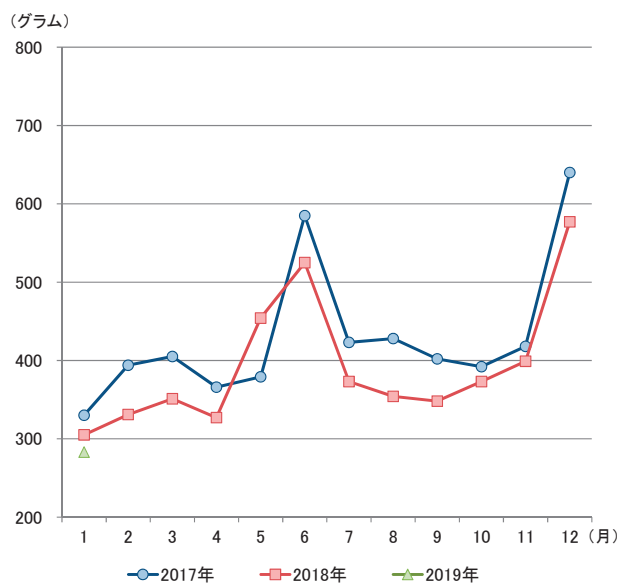
総務省「家計調査」によると、2019年1月における100世帯当たりの砂糖の購入頻度は31、1世帯（2人以上）当たりの支出金額は、71円（前年同月比7.8%安、前月比45.8%安）であった（図10）。また、同月の1世帯当たりの砂糖の購入数量は、283グラム（同7.2%減、同51.0%減）であった（図11）。

図10 1世帯当たりの砂糖に係る支出額の推移



資料：総務省「家計調査」

図11 1世帯当たりの砂糖の購入数量の推移



資料：総務省「家計調査」